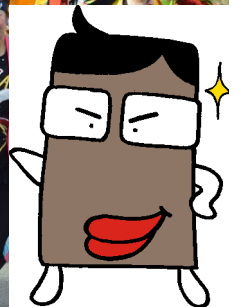


『平岸の未来づくりワークショップ』を開催しました！

札幌市では、主要な地下鉄駅周辺などを「地域交流拠点」と位置付けて、拠点のまちづくりを進めています。その一環として、平岸地区で地域の方々とまちづくりの方向性を共有するための指針づくりに向けて、平成29年9月29日（金）に第1回目の『平岸の未来づくりワークショップ』を開催しました。

同日に2回のワークショップを開催し、合計37名の方にご参加いただき、様々な年代、また、学生さんも含め様々な職業の方が集まって、活発に、楽しく意見交換を行いました。

以下に、開催の概要をお知らせいたします！



1. ワークショップの様子

はじめに、拠点のまちづくりの考え方、広場や歩道の店舗前などのスペースを活用したまちづくりの取組についての事例を勉強し、イメージを膨らませました。

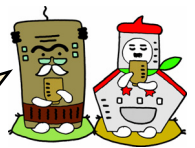
その後、いよいよグループに分かれてワークショップ。

平岸の現状、課題、魅力や今後のまちづくりについて、いろいろな人と活発に意見交換しました。**結果は裏面をご覧ください。**

まだまだ話したりない平岸の皆さん。**次回は10月31日**です。今回参加できなかった方も、ぜひご参加いただき、楽しく平岸の未来について話しましょう！



みんな笑顔で楽しそう。でも、真剣に平岸の魅力や未来の姿について話し合っていたよ。



「平岸と言えば」のお題では、なんと、ほぼ全ての方が、『平岸天神、よさこい』と回答！平岸の皆さんは、既に共有できる地域の魅力を持っているんだね。

プログラム

1. 開会、挨拶
2. 説明
 - 1) 拠点まちづくりの取組
 - 2) まちづくりの事例
3. ワークショップ
 - 1) WSの説明、アイスブレイク
 - 2) 説明(平岸の現状)
 - 3) グループワーク
 - A 平岸の現状についての発見、感想
 - B 平岸の課題探し
 - C 平岸の魅力探し
 - 4) まとめ
4. 挨拶、次回のお知らせ

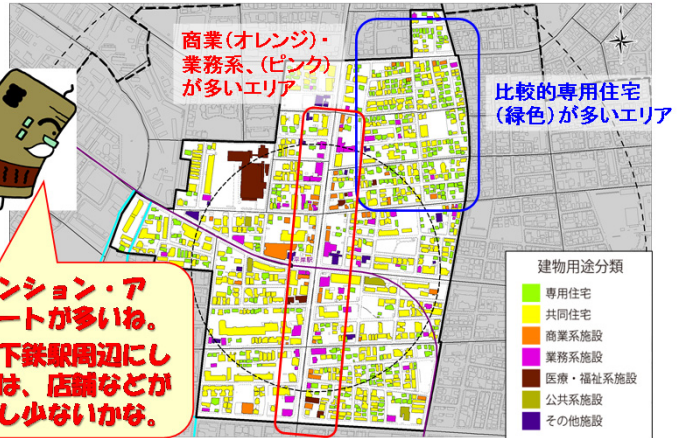
2. ワークショップの結果

(1) 平岸ってどんなところ？

統計データなどからみた平岸の現状について勉強しました！

平岸の現状

- ・平岸駅周辺の人口が増加
- ・少子高齢化が進んでいる
(特に、75歳以上の高齢者が増加)
- ・医療・福祉に従事する人が多い
- ・共同住宅(借家)が多く、近年増加
- ・商業施設が少ない
- ・古い建物が多い
- ・未利用の宅地、駐車場が点在



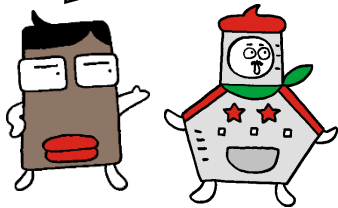
「だいたい実感とあっていて」「より理解が深まった」という意見が多かったぞ。



「人が減っている」「子どもが増えている」と感じている人もいたね。

(2) 平岸の課題を発見！

各グループでたくさん課題が出た中で、各グループの課題ベスト3は、こんな内容でした。



①施設、環境などに関すること

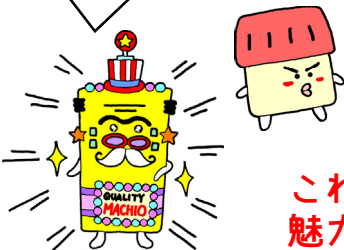
- ・歩きやすい空間づくりや人が集まる場づくりが必要
- ・平岸街道の魅力向上が必要
- ・店舗、駐輪場、利便施設が少ない
- ・シンボルとなる施設が必要
- ・景観が良くない
- ・公園、自然環境を活かした取組が必要

②人、生活に関すること

- ・コミュニティやにぎわいの不足
- ・高齢化
- ・若者が定着しない
- ・子どもが少ない
- ・高齢者や子どもの交通安全
- ・町内会活動の促進

(3) 平岸の魅力を発見！

各グループで平岸の魅力がたくさん出てきたよ！各グループの魅力ベスト3として、こんな内容があげられました。



①魅力的な地域資源

- ・平岸天神
- ・商店街
- ・FMアップル
- ・イベントが多い
- ・歴史がある(りんご、ピラケシ)

②高い利便性

- ・交通利便性が高い
- ・都心が近い

③快適な住環境

- ・地盤がよく、災害時に安全
- ・地域の防犯活動により安心安全
- ・自然環境(山、川、花、りんご、ホタル)
- ・子育てしやすい環境
- ・人のあたたかさ
- ・若者、学生が多い
- ・住みやすさ

これらを活かして、『平岸をもっと活性化できる！』『もっと魅力的なまちにできる！』という意見がたくさんありました。

第2回目の開催は平成29年10月31日の13:30です。
平岸地区の皆様、ぜひご参加ください(詳細は別紙の案内チラシをご覧ください)。

発行・お問い合わせ先

日本データサービス(株)企画部 電話:011-780-1121(担当 永井、藤井)

札幌市まちづくり政策局都市計画部 地域計画課 電話:011-211-2545(担当 太田、岡田)



さっぽろ市
02-B03-17-1803
29-2-1163